



sakushin ism



Sakushin Gakuin Elementary School

# 作新学院小学部

学院長 船田 元

〒320-8525 栃木県宇都宮市一の沢1丁目1-41

☎028(647)4576

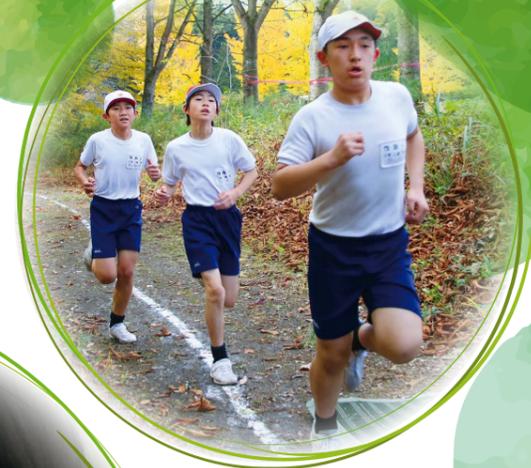
FAX028(648)1823 <http://www.sakushin.ac.jp>



交通案内

- ◆JR宇都宮駅利用 西口バスターミナル⑥・⑦乗場から  
関東バス「作新学院駒生」行乗車
- ◆東武宇都宮駅利用 東武宇都宮駅前バス乗場から  
関東バス「作新学院駒生」行乗車  
※いずれも「作新学院前」下車

# SAKUSHIN GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL



# 作新学院小学部

2020

学校案内／募集要項



「作新民。」その「人間力」で、世界を変える、未来をつくる。



「確かな知力」「豊かな心」「やりぬく強さ」

〈リトルジェントルマン〉 〈リトルレディ〉  
小さな紳士・小さな淑女を育てる



学院長  
船田 元



理事長  
船田 恵

作新学院小学部は県内でただ一つの私立小学校です。小学部では私立の特色を生かし、児童一人ひとりが個性を十分に伸ばせるよう、教職員は細かい点にまで気を配りながら指導しています。特に学院の校風である人を思いやる優しさや、心の豊かさをもった人となるように、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を心がけ、それを実践しています。

## 知育

——— 少人数教育によるきめ細かい指導。

教育の基本は「教え込む」ことではなく、その子どもに備わっている能力と可能性を最大限に「引き出す」ように導くことです。そして、子どもが自発的に学べる環境を整えることです。作新学院小学部では、各教科の授業において、子どもたちの学習に対する興味や関心を高める様々な取り組みを通して、学習への意欲を引き出し、学力を確実に伸ばすことに力を注いでいます。また、少人数クラス編成でのきめ細やかな指導とチーム・ティーチングにより、授業に自然と集中できる環境を作り出しています。

## 徳育

——— 感謝と思いやりの心を育む。

作新学院小学部の道徳教育は、キリスト教の愛の精神を基盤とし、成長に合わせてゆっくりと子どもを見守りながら「思いやり」の心を育み、愛情豊かに育てようとする教育です。学校での生活は、朝の祈りに始まり、帰りの祈りに終わります。また、月に二回の牧師による聖話では聖書から隣人愛について学び、他人を理解し、よい人間関係をつくることのできる子どもの育成に力を入れています。また、学校は子どもの社会性を養うところでもあります。規律や礼儀、言葉づかいなど日常のしつけ教育も徹底して行っています。

## 体育

——— 体力と意志力の育成。

通常の授業の他に私立学校の特色を活かした多彩なスポーツ系年間行事を用意。体力だけでなく持久力や忍耐力などをそなえた強くたくましい子どもを育てます。また、男子は5・6年生になると必修クラブとしてラグビーの授業があります。仲間とともに取り組むことで楽しんで体を動かし、粘り強くやり通す精神や思いやりの気持ちを養うとともに、ルールを重視し楽しく仲良く運動ができるようにしています。

創立者 船田兵吾 (1868~1924)

幼い時から学問が好きで、6歳の頃にはすでに『論語』を読みこなしたことから、「神童」と呼ばれる。また、田中正造とも親しく、彼から「日本における教育者の代表」と言わせるほどの人物であったという。作新学院の教育施設の整備に努め、学校発展の基礎をつくるために奔走し、1924年(大正13年)57歳で「教育」に捧げた一生を終える。



小学部 初代部長 船田小常 (1903~1973)

小学部創設に尽力。キリスト教の愛の精神を道徳教育の基盤に据え、自ら、聖書の教えを子どもたちに説いた。また、将来の国際化社会に備え、創立当初より英語教育に力を入れた。更に、一流人の育成を目指し、日常の立ち居振る舞いや挨拶等の躰にも厳しかった。こうした初代部長・船田小常の教育理念は、「小さな紳士・小さな淑女の育成」という小学部の教育目標として、今日まで受け継がれている。



### 沿革

昭和29年 作新学院小学部創設 外国人教師による英語学習を開始  
昭和34年 制服制定  
昭和35年 必修クラブラグビー部設置  
昭和37年 必修クラブ茶道部設置

昭和38年 委託給食開始  
昭和41年 新校舎落成  
昭和57年 小・中等部体育館落成  
平成 3年 多目的校舎新設  
平成 8年 TBSこども音楽コンクール最優秀賞(金管クラブ)

平成14年 1学級25名基準、学年3学級編成を実施  
平成17年 小学部校舎の拡充  
平成21年 小・中等部食堂棟落成  
平成23年 新入生より新制服となる  
平成26年 小学部創立60周年

# 開設当初からグローバル化を見据えた英語教育。

コミュニケーションを重視した内容で、生きた英語を楽しく学びます。

## 国際的な感覚と感性を身につけます。

作新学院小学部の英語教育は、開設当初より来たるグローバル化を見据え、ネイティブの英語教師をいち早く導入。子どもたちが楽しく自然と英語力が身につけられる授業を展開してきました。英語力を身につけることは、意欲と環境が整いさえすれば何歳からでも可能です。しかし発音や習得の効率性を考えた場合幼少期から学習を開始することが望ましいと考えられます。

現在小学部では、2人のネイティブの英語教師を擁し、生きた英語を習得できる学習環境を用意しています。私立学校ならではの質の高い教育が期待できます。

また、2020年から英語が5・6年生で教科になることや、将来、より確かな英語の力が求められることを考え、Reading・Writingの力も、学年に応じて身につけることができるようなプログラムを導入しています。



1年生から6年生まで、毎週2~4回、英語に親んでいます。



歌やゲームを通して、ListeningとSpeakingを中心に「英語は楽しい」という子どもの心を大切にしています。



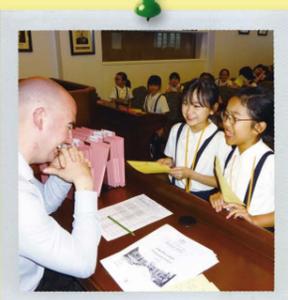
「英語が好き」と思えるように、自然な形で英語が身につくことを目指します。



ネイティブの先生とのコミュニケーションを通して生きた英語の活用に重点を置いています。

## 異文化体験教室 五感を通して、英語と英国の文化に触れます。

5年生は夏休みの7月下旬に、ブリティッシュヒルズで1泊2日の体験学習を行います。ここでのさまざまなカルチャーレッスンやマナー教室はすべて英語。生きた英語に触れながらの活動は、子どもたちにとって貴重な経験となることでしょう。



英語でチェックイン。ドキドキしたけど、通じてうれしい!!



イングランド起源の「クリケット」を体験!!



マナーを学びながら美味しく楽しくお食事。



スタンプやカラーペンで英字カード作り。



スコーンの作り方を教えてもらいました。



# 一人ひとりを大切に。

少人数クラス編成とチーム・ティーチングで  
行き届いた指導を実現します。

## 授業内容

学ぶ喜び・楽しさを子どもたちに伝えたい



小学部長  
岡田 幸子

学ぶ姿勢を低学年からきめ細やかに指導。

作新学院小学部では、学校生活の中心となる学習に対する基本的な態度や学ぶ力を、低学年の段階からきめ細やかに指導。一人ひとりがよく学び、自主・自立・友愛の精神を尊重しながら、楽しい学校生活を送れるような環境づくりに努めています。



## 自ら学び、考え、解決していく力を育みます。

作新学院小学部では私立学校ならではの独自の教育プログラムで特色ある授業を展開し、子どもたちが自然と授業に集中できるようリズムを作り出しています。また、少人数クラス編成とチーム・ティーチングにより、個に応じたきめ細やかな指導を実現し、子どもたちの学力向上に高い成果をもたらしています。さらに、ほとんどの児童が本学院中等部へ進学するという環境から、クラス全体に連帯感と緊張感が生まれ、子どもたちの自主性と学習意欲の高揚に相乗効果が得られています。

### 国語

国語という教科はすべての教科の基礎となります。「話す」「聞く」「書く」「読む」という活動を通して基礎基本を身につけ、正しい日本語の担い手になるような子どもたちを育てたいと考えています。特に日記指導、漢字学習、音読を重視し表現力を高めようと努力しています。

### 理科

本来子どもたちは理科学的な事柄への新鮮な好奇心をもっています。その好奇心が枯れないように、実験観察や科学的に考えることの楽しさを体験させることを通して、自然に対する探求心や科学への興味関心を高めていくよう努めています。

### 図工

子どもたちが、つくりだす喜びを味わえることを目的に、様々な造形的な創造活動を通して基礎的な能力を育てます。見ること、触れること、感じること、驚くことなどの発見や体験から生まれたイメージを大切に、それを表現できるように指導します。

### 音楽

さまざまな音楽的活動を通して生涯にわたって音楽を愛好する心と感性を育てています。また基礎的な音楽技能を習得させ、豊かな情操を培っています。

### 総合

各学年・クラスごとに自分たちでテーマを見つけ学習に取り組んでいます。パソコンを使つての「調べ学習」の他、各教科の発展学習もあれば、人間関係を深めるゲームなど多彩な授業を展開しています。

### 道徳

道徳が、2018年度から「特別の教科 道徳」として教科になりました。聖話を導入とした授業など、小学部独自の道徳を展開しています。

### 算数

小学部の算数でねらっているのは、「基礎的・基本的な内容の理解と充実」とその上に立った「数学的な考え方や問題解決力の育成」です。全クラスでチーム・ティーチングを行い、多くの具体的な操作活動を通して数を実感としてとらえる指導をしています。

### 社会

身近な社会を学ぶという視点に立ち、地域の公共施設で働く人を見学したり、毎日生活していく中での歴史的、文化的背景について学習する機会を作ります。また自分の住む社会に対する興味を育てながら、さらには日本の国土について学習します。

### 体育

心身ともに健康な体を育むことに重点をおいて指導しています。特に低学年時は、遊びや基本の運動を通して、体を動かすことの楽しさを自然に体得させるとともに、集団としてのルールや決まりを学ばせます。

### 家庭

衣食住に関する実践的な活動を通して、日常生活に必要な知識・技能を習得します。生活をより楽しく、より良くする能力を育てます。

### 生活

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会や自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えようとする態度を養います。また、生活上必要な習慣や技能を身につけさせます。

継続して実施されるカリキュラム	読書・運動・英語など 8:15~8:45	日々を顧みる日記 毎日	英会話授業の充実 入学時から学習	コンピュータ教育 1年生から実施
-----------------	-------------------------	----------------	---------------------	---------------------

### 必修クラブ

#### ラグビー

5・6年生の男子にはラグビーの授業があります。時には、作新学院高等学校のラグビー部員による技術指導を受けることもあります。



ラグビー(男子)

### 必修クラブ

#### 茶道

5・6年生の女子は茶道家元のご指導で茶道を学んでいます。茶道を通し、日本の伝統文化に触れ、正しい礼儀作法を身につけます。



茶道(女子)



# 朝のお祈りに始まる、楽しく充実した毎日。

キリスト教の愛の精神を基盤とした情操教育を行っています。



毎週水曜日に朝の運動があります。



6年生は週番の仕事として、朝早く掃除活動を行っています。

## 登校

徒歩バス・自家用車などで8時15分までに登校します。登校時は正門・アカデミアゲートのどちらからも入れます。



## 1 時限目

子どもたちの生き生きとした表情が密度の濃い授業を物語っています。

## 一日の流れ



## 下校

下校時も、児童の安全確保につとめています。

## 6 時限目

「燃焼の仕組み」の実験。理科の実験は新しい発見がいっぱい。児童の目が輝きます。



## 2 時限目

歌やゲームを楽しみながら、生きた英語を身につけます。



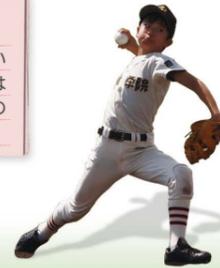
## 3 時限目

音楽では、合唱や器楽合奏などを通して、豊かな情操を育みます。



## 4 時限目

先生のお話をよく聞いて、わからないことは質問し、疑問は今日のうちに解決します。



## 給食

ランチタイムは友だちと楽しくお話をしながらいただきます。



## 5 時限目

パソコンを使ってみんなで協力し合いながら調べていきます。



## 一校一家の精神



小学部では上級生が下級生をサポートすることが日常となっています。下級生を思いやる心を育てるとともに、上級生への感謝の気持ちと目上の人を敬う一校一家の精神が、脈々と受け継がれています。



上級生が正門で1年生を出迎え教室まで付き添います。



わからないことが多い1年生に6年生が優しくサポートします。



朝の時間に6年生が1年生に紙芝居を読んであげたりしています。



【親子給食】1年生児童と保護者が一緒に楽しい給食体験!!

## ランチルーム

5・6年生はランチルームにて給食をいただきます。清潔で開放的なランチルームでの昼食は、友だちとの会話も弾み、リラックスしたひとときです。様々なイベントにも活用されています。

### 学校行事を通して、社会性と協調性を養います。

子どもたちがめりはりのある学校生活を送ることができるように、1年を通して多彩な学校行事を用意してあります。一つの行事に子どもたちが主体的に関わっていく過程では、教科の学習とは違う活動の中から互いの能力を認め合い、よりよいものを創り出す喜びを感じることができます。また、学校行事と総合の時間を関連づけたプログラムを実践し、その内容をより充実したものにしています。

- 4 入学式
- 5 春の遠足  
親子給食会  
幼小連携田植え
- 6 花の日訪問  
親子のつどい
- 7 異文化体験教室  
林間学校
- 8 チャレンジ講座
- 9 運動会
- 10 秋の遠足  
幼小連携稲刈り
- 11 感謝祭  
長距離走大会
- 12 クリスマス礼拝 音楽会
- 1 スキー教室
- 2 スケート教室
- 3 卒業式



修学旅行

2泊3日で横浜・鎌倉・箱根をまわります。班別行動を中心に、自然や歴史・文化を満喫します。



運動会

#### 入学式



作新学院小学部での素晴らしい日々の始まりです。少し緊張しながらも希望に瞳を輝かせています。

#### 春の遠足



新緑の豊かな自然の中で動植物と親しみながらクラスの仲間との友情を深めます。

#### 幼小連携田植え



年長園児ともち米の苗を一本一本丁寧に植えます。10月末に刈り取り、12月には餅つきをして食べます。

#### 花の日訪問



日頃お世話になっている公共機関や施設に感謝の気持ちとともにお花を届けます。

#### チャレンジ講座



夏休み、各教員の得意分野を生かして、約20の講座が開かれます。この講座では、パンケーキを作っています。



金管クラブの演奏に合わせて入場行進。割れんばかりの歓声の中で溢れる笑顔とほとばしる汗。仲間と一丸になって勝利を目指します。

#### 林間学校

3年生は塩原で、4年生が那須で1泊2日の林間学校を実施。寝食を共にして友情深めます。

りんどう湖ファミリー牧場にて  
牛の乳搾り体験



木の葉化石園にて  
木の葉石の原石を割って  
化石探しを楽しむ体験



箱の森  
プレーパークにて  
サイクリング



#### 秋の遠足

秋の遠足は、りんご狩りや  
さつまいも掘りなど、  
実りの秋ならではの体験も。



#### 幼小連携稲刈り

立派に育ったもち米を  
年長園児と一緒に  
稲刈りします。



#### 感謝祭



アメリカの宗教行事の一つですが、小学部では毎年野菜や果物を持ち寄り老人ホームなどへ届けています。



#### 長距離走大会



10月から11月にかけて子どもたちは毎日練習します。大会では完走する達成感と喜びを味わいます。大会後は、役員のみな様が作ってくださるおしるごとお雑煮を美味しくいただきます。

#### クリスマス礼拝・音楽会



音楽会はクリスマス礼拝のあとに実施します。各学年ごとに発表する歌や合奏は、非常にレベルの高いものです。

#### スケート教室



3・4年生を対象に実施。  
1時間ほどの練習で、3年生も  
上手に滑れるようになります。

#### スキー教室

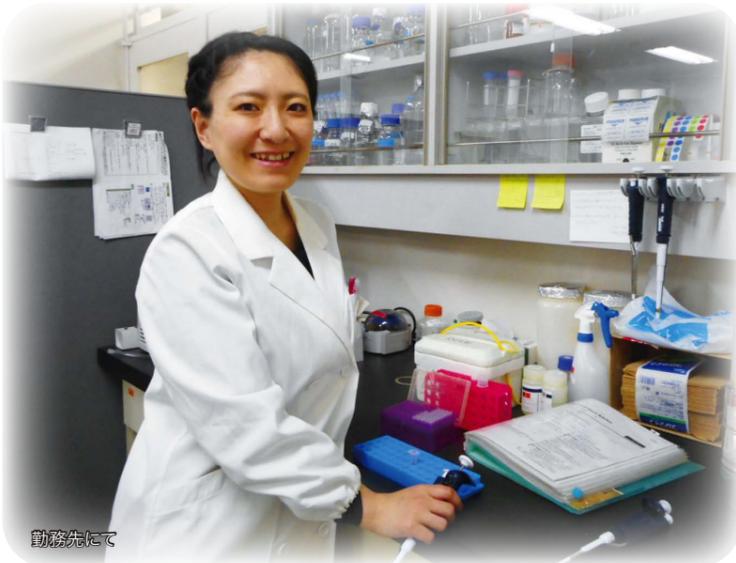


5・6年生を対象に実施。現地インストラクターの指導で、初めての児童も2日目には滑れるように。



## 東京農大の准教授として、植物生理学の研究と教育の分野で活躍。

元担任の遠藤教諭と久しぶりに再会し、近況や思い出を語ってくれました。



勤務先にて



アカデミア・ステージにて遠藤教諭と田村さん

### 田村 倫子さん 東京農業大学 准教授

東京大学大学院 ◀ 宇都宮大学・大学院 ◀ 作新学院高等部 ◀ 中等部 ◀ 小学部(平成3年度卒)



小学部時代の田村さん

(遠藤) 今は、大学でどんなお仕事？

**田村さん** 食品安全健康学科の准教授として、「植物生理学」や「遺伝子工学」という講義や食材利用学実習、その他4年生の卒論研究の指導などを担当しています。

(遠藤) 今のお仕事に喜びを感じる時は？

**田村さん** 私は言葉をもっていないものとすごくお話がしたいと思っていて、リンゴだったら「どうしてそんなにシャキシャキしてるの？」納豆ちょっと臭いけど、「どうしてそんなに栄養がたっぷりなの？」—そういう話をしたい。

その話をするとき、言葉の代わりに赤く色づくことで何かを伝えてくれたり、細胞の中の遺伝子がオンになったりオフになったり、そういうのを見ると、まるで教えてもらっている気がしてそれが喜びです。もう一つは、それを学生と共に分かち合うことができる、学生もお〜！と感動するので、その瞬間がうれしいです。



ダイニング・ラボにて

(遠藤) 今のお仕事につながるきっかけは？

**田村さん** それはもう、まさに先生に教えていただいた仮説実験授業です。それが本当に楽しかったですね。今やっていることは、食べ物をより長持ちさせるとか、より栄養価を上げて食べるとか、少し応用っぽいんですけど、でもどうやったらそういうことができるのか？というのは、植物の代謝の仕組みとか、遺伝子レベルで明らかにしないと分からないので、私は応用に行けば行くほど、原理に凝っていくタイプなんです。小学生のときに仮説実験授業を通して、どうしてそういう現象が起こるのかという仕組みを学ぶ楽しさを体験して、そこから科学にはまりました。

(遠藤) そういうふうになんか科学が好きになって、それが今の仕事につながって、やりがいを感じてもらえているというのは、本当にうれしいですよ。

今の子どもたちに伝えたいことは？

**田村さん** 今はインターネットなどでたくさんの情報が得られる時代ですが、本に書かれている情報はより正しい情報かなと思うので、本を読むことを大切にしてほしいです。それともう一つ、「やってみようかな」と思ったときが始めどきだと思うので、いろんなことに挑戦してほしいです。

## 2016年、スポーツクライミング世界選手権で日本人初優勝を果たした榎崎智亜選手。

忙しい日々のなか、子どもたちのためにスポーツクライミングの楽しさを教えてくれました。

### 榎崎智亜選手と榎崎明智選手をお迎えしてスポーツクライミング教室を開催!!

2019年の春休みに、作新学院小学部4年生から6年生と作新学院中等部生の経験者を対象に、スポーツクライミング教室が行われました。最初はなかなか登れなかった子どもも、榎崎両選手のやさしい指導のおかげで、体験の最後の頃には、どんどん高いところを目指して登ろうと挑戦していました。



登り方の説明をしつづける榎崎両選手

体験後は、質疑応答の時間が設けられ、小学生の質問にも真摯に答えてくださいました。最後には、智亜選手と明智選手を囲んで集合写真を撮り、1人1人握手。短い時間でしたが、子どもたちにとってとても貴重な体験になりました。



子どもたちにわかりやすく指導していただきました



### TEAM au 所属 榎崎 智亜さん

- ▲ 中等部
- ▲ 小学部(平成17年度卒)
- ▲ 作新学院幼稚園



作新学院小学部は、先生と生徒の距離がとても近く、家族のような環境で、6年間があったという間でした。毎日、みんなで笑いあい、楽しく過ごしていました。今でも当時の仲間と交流があり、エールをもらいながらクライミングに取り組んでいます。後輩のみなさんには、この豊かな環境のもとで大切な仲間と出会い、自分自身の輝けるもの、夢中になれるものを見つけ、この学校で良かったと思える小学校生活を実りあるものにしてほしいです。

【榎崎智亜選手の主な経歴】

- 2018年 ワールドカップ コンバインド年間ランキング 2位  
ボルダリングワールドカップ モスクワ大会 優勝  
リードワールドアップ スイス大会 3位  
第1回コンバインドジャパンカップ 優勝
- 2017年 ワールドカップ コンバインド年間ランキング 2位
- 2016年 世界選手権ボルダリング 優勝  
ボルダリングワールドカップ ミュンヘン大会 優勝  
ボルダリングワールドカップ 重慶大会 優勝



【BJC2019】明智 Photoクレジット/大杉和広

### TEAM au 所属 榎崎 明智さん

- ▲ 小学部(平成20年度卒)
- ▲ 作新学院幼稚園



僕がクライミングを始めた小学生のころ、兄の智くんや大人にまじって登っていました。遠いホールド(次の手)に届かなくて悔しい思いを沢山したのを覚えています。それでも登り続けて、いまでは誰よりも遠くに手を伸ばしてスイスイ登れるようになりました。みなさんも何かに熱中して、毎日を過ごしてください！僕もまだまだ頑張るので応援よろしくをお願いします。

【榎崎明智選手の主な経歴】

- 2018年 ISE World Series Hiroshima 広島 ボルダリング 優勝  
IFSC 世界ユース選手権 モスクワ ボルダリング/リード 優勝  
IFSC 世界選手権 インスブルック リード 4位  
IFSC アジア選手権 倉吉(鳥取) ボルダリング/コンバインド 優勝  
ユース日本選手権 倉吉(鳥取) ボルダリング 優勝  
日本ユース選手権 印西(千葉) リード 優勝  
コンバインド・ジャパンカップ 盛岡(岩手) コンバインド 2位

## 2020年度 募集要項

募集人員	第1学年、男女あわせて75名(1学級25名程度の少人数編成)
出願手続	本学院所定の入学願書にて本学院事務局へ提出 (願書配布は、8月末頃から事務局、又は小学部職員室にて)
出願期間	<b>2019年11月5日(火)～8日(金)</b> 受付時間 9:00～16:00
選考日時	<b>2019年11月23日(祝・土)</b> 申込順に下記の時間を指定します <b>9:30 / 10:30 / 13:30 / 14:30</b>
入学選考	心身両面の発達を調査し、本校教育に適する者を選びます 合わせて保護者の面接もを行います
選考料	8,000円
合格通知	2019年11月26日(火) ※郵送通知による発表
入学手続	・合格者は2019年12月2日(月)までに入学金80,000円を所定の銀行へ振込んでください。 ・教育委員会への手続きは本学院で行います。(入学金は返金いたしません)
その他	・就学時健康診断は、指定された小学校で受けてください。 ・学区制限はありません。 ・卒業後の進路選択は自由です。 ・本学院中等部への進学は、入学試験を受け、その結果により認められます。

### 入学諸経費

○諸納付金…170,980円 ※2020年4月より

- |                                   |                           |
|-----------------------------------|---------------------------|
| ■施設費 100,000円(入学時・2年より年間 20,000円) | ■4月分授業料・教育充実費・実習費 35,600円 |
| ■学級経費 13,000円(半年分)                | ■保護者会経費 12,000円           |
| ■給食費 6,900円                       | ■その他の経費 3,480円            |

○購買用品…男子/約 68,600円・女子/約 71,600円

- |   |
|---|
| ■制服一式 ◆男子 約 25,000円 ◆女子 約 28,000円       |
| ■体育着一式 男女共通 約 6,600円                    |
| ■学用品・スモック・ランドセル(学院指定のもの) 男女共通 約 37,000円 |

○毎月の経費…45,500円

- |                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| ■授業料・教育充実費・実習費 35,600円 | ■給食費 6,900円                |
| ■行事積立金 3,000円          | ※4・5月は、学級経費 13,000円が含まれます。 |

※児童募集に関する個人情報の取り扱いについて/願書などに記載いただいた個人情報は、入学選考実施のための事務手続き、及び合否等の連絡、合格後における入学手続等の事務手続き及びその連絡のために使用いたします。

## 学校説明会・公開授業参観

2019年 10月17日(木) 聴蛙館

小学部に入学を希望する園児の  
保護者の方々のご来校をお待ちしています。

学校説明会 場 所/聴蛙館 3階  
受 付/9:00～ 9:30  
開催時間/9:30～10:40

※学校説明会の前に児童の発表を行います。  
(英語によるショートスピーチ・金管クラブの演奏等)

公開授業参観 場 所/小学部各教室  
受 付/10:30 児童玄関  
授業時間/10:50～11:35

### 一日体験教室

小学部に入学を希望する園児・保護者の方々を対象に  
小学部教室にて「一日体験教室」を開催しています。



## 安全対策

### 登下校時の安全確保についての小学部での対策

○下校の際には、毎日バス停の方面ごとに教員  
が児童を引率しています。

○通学範囲の広さを考慮し、安全確保のため、  
学校指定の子ども用携帯電話に限り条件を  
付して所持を許可しています。



休校や災害時の緊急連絡・不審者  
情報などの連絡

## 学童保育のご案内



小学部では、第二校舎の一室に学童保育の部屋があり  
ます。利用できるのは、小学部に在籍の1年生から  
3年生までの児童で入会条件にあてはまる児童です。

- ◆定員/各学年10名まで
- ◆平日/下校時～18時(延長19時まで)

